

2013年11月15日発行

K



神奈川県理学療法士会

(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa
Physical therapy Association
News

P

11

2013
November
No.254

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 秋田 裕 ○編集 | 加賀谷善教

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[25.10.1現在]

3,992名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶会員ライフサポート部活動報告42報/会長行動報告 P4▶活動報告 P5▶学会情報 P7▶新人教育プログラム
P8▶研修会・講習会 P11▶information P12▶理事会報告 P15▶ちよいんと P16▶解剖こぼれ話/洋書よみましょ P17▶求人案内
P24▶編集後記/原稿・広告送付先

巻頭言



おもてなし

湘南鎌倉人工関節センター
鈴木 浩次

2020年夏季五輪・パラリンピック開催地が東京に決まりました。日本のホスピタリティー精神を「おもてなし」というひと言に込めたフリーアナウンサー・滝川クリステルさんのプレゼンテーションは印象的でした。フランス語のスピーチの中、あえて日本語で表現したことで日本人特有の心づかい、親切心といったものを伝えていたように感じます。

ホスピタリティという言葉は「思いやり」「心からのおもてなし」といった意味で今では日常的に広く浸透してきたように感じます。ホスピタリティ (hospitality) の語源はラテン語のhospesだと言われています。かつて巡礼者のために地元の人たちが街路樹に実のなる木を植え食料にし、また病気になる人の世話をしたことから、それが現代のhospital (病院) となり、一夜の宿として提供したのが hotel (ホテル) となり、主人をhost、hostessと呼ぶようになったようです。

医療もサービス業といわれることがありますが、サービスの語源servus (ラテン語の奴隷を意味する) から考えると違和感があります。それは、医療で提供すべきサービスはマニュアル通りのものでなく、ひとりひとり違った状況に合わせて自らの意思を持って積極的に対応することだからでしょう。

理学療法士はもともとホスピタリティ精神にあふれた技術職あるいは職人と思うのです。しかし、新人の頃は“職人”に気持ちが傾いているように感じます。モチベーションが高い分だけ知識や技術をたくさん吸収したいということで頭がいっぱいになり、もしかしたら相手の気持ちが置き去りにになっているかもしれません。私自身、新人のときを振り返ってみても当時としては一生懸命に相手のことも考えていたはずですが、極端に言えば“人”ではなく“カラダ”や“疾患”ばかりを診ていることが多かったかもしれません。理学療法士の「おもてなし」は相手の身になって、苦痛や状態を理解するよう努めることなのでしょう。そんなことは百も承知という声が聞こえてきそうですが、

そう思っている相手にも上手に伝えられないとせっかくの気持ちが台無しになってしまう恐れがあります。身体の状態を良くしてあげたいと思うばかりに相手の弱点、欠点の指摘ばかりでは「さあ、一緒に治していきましょう!」と言っても相手の気持ちはどうでしょうか。もう一步踏み込んで相手のことを考えてみたいですね。同じアプローチでも思いやりある言葉のかけ方ひとつで相手を受け取る印象は変わるように思えます。

私の所属施設は人工関節置換術 (股関節・膝関節) に特化した専門クリニックです。術後の入院期間が非常に短いのが特徴のひとつです。原則的に退院日が決まっていますので、入院中の身体回復がおもわしくない方には正直なところもう少し長く関わりたいと思いますが、現状の運営方法のなかで理学療法士として出来るだけの「おもてなし」をしていきたいと日々考えています。

当院では手術後の経過が良好な方々に「ここで手術して良かった」「良い気分退院を迎えられた」と感じて頂けるのは当たり前前の結果と思っています。回復のおもわしくない方にとっては「自分の状況を理解してもらえ、最善を尽くされた」と感じていただけるように相手の気持ちにより添う対応が安心して退院していただけるためのカギになると思っています。退院後何年経っても診察は続きますので「おもてなし」にも終りはありません。

当院のスタッフは、嫌みなくさらっと相手を褒めながら気持ちを盛り上げていくタイプあり、相手の興味あるものをきっかけに思いを上手に引き出していくタイプあり、それぞれ個性を持っています。私自身、相手との関わり方について彼らに気づかされることは多いのです。もちろん現状に満足しているわけではなく、接遇をうまくやっているなどという驕りはありません。むしろこの原稿は何か私自身の反省文を書いている気分さえあります。

今後も理学療法技術、知識と「おもてなし」のここをバランスよく磨き、現場で実践していけるように精進していきたいと思っています。



こと、よかったこと、困ったことなどありますか？

「長期休業を取得する人が出てくることによって、介護休業を取るベテランのフォローは中堅が、育児休業を取る中堅のフォローは若手など、フォローする側の責任感や自覚など成長促進にもつながっていると思います。困るとすれば、出来高分の減収でしょうか。6週間など期間限定の年度途中の休業の補充はできませんでしたが、週2日ではありますが1年間のアルバイトをお願いすることができました。アルバイトなどで補充するなど、職場や土会のバックアップ体制の整備が必要です。」

- これからの人に要望や伝えたいこと（心構えも含めて）はありますか？

「PTとして定年を迎える人も増加すると思います。各個人のライフサイクルに合わせて、『結婚→育児→介護→定年』は、その時々で経験するべきものです。遠慮せずに順番に取得すれば『持ちつ持たれつ』の職場環境が整うと思います。」

■最後に…

いろいろな人からお話を聞くことができました。ご協力に感謝いたします。

これまでは、育児休業をとることなく、やめてしまったスタッフも少なくないとも聞きました。職場環境に課題がないわけではありません。しかし、このように前例ができれば、続いていく人も増え、それが当たり前な環境になり、働きやすい職場について考えるきっかけになることなのでしょう。社会環境のバックアップもまだまだ不十分です。今回インタビューに応じていただいたパパPTの奥様は、保育園の空きがなく復職したいのにできていないとのことでした。それでも、安倍総理が「女性の力を経済成長のカギに」と言っていたように、社会の動きを味方につけ、理学療法士の世界も業務の内容、環境ともいい方向に進むよう、私たちは理想を高く取り組んでいきたいと心新にしました。



月	日	内容	場所
8月	1日(木)	常任理事会、会務処理	事務所
	6日(火)	会務処理	事務所
	20日(火)	会務処理	事務所
	20日(火)	49回学会準備委員会、会務処理	事務所
	27日(火)	第2回理事会、会務処理	事務所
	31日(土)	協会選挙制度検討特別委員会	田町カンファレンスセンター
9月	2日(月)	会務処理	事務所
	4日(水)	会務処理	事務所
	4日(水)	県医療専門職連合会理事会	放射線技師会事務所
	10日(火)	常任理事会、会務処理	事務所
	15日(日)	関東甲信越ブロック協議会士会長会議	大宮ソニックシティ
	15日(日)	埼玉県士会公益社団法人移行祝賀会	大宮
	23日(月)	協会選挙制度検討特別委員会	田町カンファレンスセンター
	24日(火)	第4回事業運営会議、会務処理	事務所
	26日(木)	49回学会準備委員会	事務所
	28日(土)	役員研修会、懇親会	事務所



訪問リハビリテーションに関するお知らせ③

介護保険部 訪問リハビリテーション係

(1) 第4回訪問リハビリテーション実務者研修会が終了しました。

平成25年9月21日（土）～22日（日）に神奈川県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会共催による第4回訪問リハビリテーション実務者研修会が開催されました。

県内から訪問リハ従事者及びこれから訪問リハに携わる予定の方々、総勢67名が参加されました。

今回の実務者研修会はテーマを「連携」として構成しました。研修内のグループワークでは、「生活に有効な他職種との連携」ということで介護支援専門員8名・訪問介護事業所のサービス提供責任者8名の方々に参加協力を得て、ディスカッションに参加していただきました。各職種間における連携の現状について互いに問題提起しあい、課題抽出、解決策の検討がされ、かなり活発な意見交換が行われていました。課題を共有しあうことで利用者に対してより有効な連携が図れる糧となったのではないのでしょうか。

今回、課題について地域性まで踏み込んでおらず、県内地域で抱えている課題の違いについては今後検討の場が必要と思われれます。士会としても、取り組んでいく方向であります。皆様方、御協力のほど、よろしくお願いいたします。



(2) 訪問リハビリテーション振興財団主催 管理者研修会（旧：フォローアップ研修会）開催期間変更について

管理者養成研修会STEP3修了者対象に開催される管理者研修会が下記のように変更されておりますので、ご確認ください。

★管理者研修会（旧：フォローアップ）開催日程 ※昨年度からは開催期間（2日間）の点で変更が生じております。

第2回訪問リハビリテーション管理者研修会～東京会場～平成26年2月15日（土）～2月16日（日）

会場：社団法人日本交通協会 大会議室（東京都千代田区丸の内三丁目4番1号 新国際ビル 9階）

…平成25年12月16日（月）正午＝お昼12時より受付開始 ※STEP3 修了者を対象
詳細につきましては、合同会社ジーンのHPをご参照ください。



第49回日本理学療法学会大会だより (No.6)

学術局 上杉 上 (横浜市立大学附属病院)

第6報は学会準備委員の紹介です。

いよいよ大会当時まで半年となり、大会準備も時間に追われるようになりました。今後より一層、会員一人ひとりのお力が必要となりますので、大会終了まで何卒よろしく願いいたします。

渉外局

局長 佐藤 史子
横浜市総合リハビリテーションセンター

副局長 河辺 信秀
茅ヶ崎リハビリテーション学院

渉外部長 山崎 哲司
横浜市総合リハビリテーションセンター

副部長 田治 秀彦
横浜市総合リハビリテーションセンター

展示担当 根本 敬 湘南鎌倉総合病院

広告担当 根本 敬 湘南鎌倉総合病院

渉外企画部長 田中 一秀 (株)Awesome life

平木 幸治 聖マリアンナ医科大学病院

下田 栄次 あべ整形外科

学術局

局長 菅原 憲一
神奈川県立保健福祉大学

学術企画部 高木 峰子
神奈川県立保健福祉大学

ライフサポート企画 寺尾 詩子
聖マリアンナ医科大学病院

セミナー企画担当 鈴木 智高
神奈川県立保健福祉大学

各賞選考担当 藤井 伸行 三浦市立病院

学術演題部 渡邊 裕之 北里大学

専門領域担当 松元 裕明 東芝林間病院

座長選考担当 河端 将司 相模原協同病院

演題担当 見井田和正 北里大学病院

山崎 弘嗣 昭和大学

学術誌部 中村 大介 昭和大学

学術誌担当 稲葉 康子 昭和大学

相談役

井上 保
県立総合療育
相談センター

大会長 長澤 弘
神奈川県立保健福祉大学

副大会長 秋田 裕
神奈川県理学療法士会事務局

準備委員長 小西聡宏
横浜市立大学附属病院

財務局

局長 植木 琢也
横浜市立
脳血管医療センター

江井 佐知恵
横浜市立市民病院

広報局

局長 小山 理恵子
鎌倉リハビリテーション
聖テレジア病院

副局長 横山 仁志
聖マリアンナ医科大学病院

HP作成管理担当 森尾 裕志
聖マリアンナ医科大学病院

カメラ撮影担当 五家 章伸
大船中央病院

運営局

局長 炭 孝昭
太田総合病院

副局長 鍋島香峰子
七沢リハビリテーション病院

中村 啓文
横浜リハビリテーション
専門学校

田中さえ子
けいゆう病院

事務局

局長 上杉 上
横浜市立大学附属病院

総務部長 藤浦 達
横浜市立大附属
市民総合医療センター

庶務部長 島津 尚子
横浜市立大学附属病院



— 第31回神奈川県理学療法士学会新聞 vol. 4 —

メイン会場	会場2	会場3	会場4	その他
教育講演	ネット同時中継 無料だよ		Hands on セミナー ①②④	機器 展示・ 書籍 販売・ 託児 室
県民公開 講座	健康 チェック	地域防災 について		
ランチョン セミナー	理学療法 相談			
学会賞ノミ ネット演題 口述発表	参加型 シンポ ジウム	ポスター 発表 Case Movie Discussion		

これが
学会概要だ！



盛りだくさん！！

県学会新聞

Hands on セミナー
各セミナー共定員20名を予定し、講師は①坂田淳先生（投球障害）②濱崎伸明先生（呼吸の診方）③園部俊晴先生（下肢特殊テスト・歩行分析）④大澤美代子先生+木村義肢（脳卒中患者への器具処方）と多彩です。参加お申し込みは1月6日よりHP上で開始予定です（別途資料代千円）。

参加型 シンポジウム
少人数でグループを作り、一つのテーマについて意見交換を行う場になります（他職種の方の参加も予定）。こちらも1月6日より事前受付開始予定です。

地域防災について
東日本大震災を契機として始まった地域防災と理学療法士の役割について、下田栄次先生よりお話しいただきます。先生は災害対策について他業種間協議を重ね

マニユアル作成や普及活動に努めておられます。要援護者への支援やリハビリの関わりについて興味深いお話を聞けることでしょう。

ランチョンセミナー
「旅とリハビリ」について、宮地秀行先生より御講演いただきます。身体が心配で旅行は無理と諦めている方は皆さんの周りにもいるのでは？本講演では旅行そのもののリハビリとしての効果やバリアフリー旅行の現状について有用な情報を得られるものと思います。

学会賞ノミネット演題セッション
学会賞審査委員にて一般演題の抄録を基にノミネット演題を決定します。当日は審査員がプレゼンテーションを基に審査し、学会賞受賞者を決定します。候補者と審査員との質疑応答にも注目下さい。

遠隔地中継や託児所の案内など、いずれの項目もHP上で随時紹介させていただきます。是非ご覧ください。

会期と会場

平成26年3月16日
ワークピア横浜
(みなとみらい)

1月6日よりHP上でお得な事前参加登録を開始予定です（2月末まで）

Hands on セミナー、参加型シンポジウムについても1月6日より開始（1月末締切）。応募者多数の場合は抽選となります。